

変更理由書

(発注担当課：下水道施設課)

- 1 工 事 名 : 5－6 公共小敷谷（補）污水管渠築造工事
- 2 工事場所 : 上尾市大字小敷谷地内
- 3 工 種 : 土木一式
(建設業法上の29分類)

4 変更契約内容

	変 更 前	変 更 後
工 期	令和 5 年 9 月 7 日から 令和 6 年 1 月 1 9 日まで	令和 一年 一月 一日から 令和 一年 一月 一日まで
契 約 金 額 (税 込)	2 5 , 5 4 0 , 9 0 0 円	2 6 , 3 8 2 , 4 0 0 円
工 事 概 要	管路掘削 353.9m ³ アルミ矢板土留(2.5m,1段) 55.5m アルミ矢板土留(2.5m,2段) 27.6m アルミ矢板土留(3.0m,2段) 65.7m 取付管工 23箇所 試掘箇所 7箇所	管路掘削 367.6m ³ アルミ矢板土留(2.5m,1段) 7.0m アルミ矢板土留(2.5m,2段) 98.0m アルミ矢板土留(3.0m,2段) 43.8m 取付管工 22箇所 試掘箇所 9箇所 [新規] TVカメラ調査(曲管部) 39.1m 施工合理化調査費 1式

5 変更理由

- ・工事請負契約締結後の現地調査の結果、水道及びガスの供給管が既設雑排水管路の下越しを行っている箇所について、新設する污水管に干渉する恐れがあるため試掘箇所を追加する。(試掘箇所 +2 箇所)
 - ・工事請負契約締結後の試掘調査の結果、路線No.117 の水道及びガスの供給管が想定よりも深く埋設されていたため、管底高を約 30cm 深くする。また、路線No.118 の水道管(φ75)が想定よりも浅く埋設されていたため、管底高を約 4cm 浅くする。
(管路掘削 +13.7 m³、アルミ矢板土留(2.5m,1 段) -48.5m、アルミ矢板土留(2.5m,2 段) +70.4m、アルミ矢板土留(3.0m,2 段) -21.9m)
 - ・地権者の要望により、取付管を減工する。(取付管 -1 箇所)
 - ・管路掘削時に、既設雑排水管路が想定していた位置とは異なる位置に埋設されていることが判明したため、一部線形を変更し、曲管を使用する。
([新規] TV カメラ調査(曲管部) +39.1m)
 - ・当該工事が国土交通省の下水道工事施工合理化調査の対象となったため、指定された調査費用を計上する。([新規] 施工合理化調査費 1 式)
- 上記により、増額変更とする。